

丹波篠山

No. 95
2021.4

市議会だより

- 令和3年度当初予算審査
- 一般質問：13人が登壇

PHOTO：西紀大橋から望む篠山川の桜と白髭岳

令和3年度当初予算

予算総額

414億9,396万円

一般会計 222億円 特別会計 108億円 公営企業会計 84億円

原案
可決

令和3年度丹波篠山市一般会計予算を含む6議案が上程されました。

審査については、予算決算委員会に付託し、総務文教・民生福祉・産業建設文科会によって審議を行い、すべて原案可決しました。

予算決算委員会での主な質疑内容をご紹介します。

QRコードをスマートフォンなどで読み取ると本会議の動画をご覧いただけます。



一般会計

ワクワク農村モデル事業

〔678万円〕

問 具体的な事業内容及びどのような考え方で事業を進めていくのか。

答 少子高齢化や担い手不足といった状況のなかで、自治会は、魅力的な地域づくりを進めていく必要があるなか、将来的に全市的な展開を考えている。

本年度においては、2、3のモデル地区を定め、市職員や専門家とともに、まちづくりの課題を洗い出し、全市的な展開の方法や支援体制等を検討し、冊子としてまとめていく。

■予防費

〔3億2761万円〕

問 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業約1億9000万円について、市内医療機関で個別接種とのことだが、かかりつけ医のない方への対応及びワクチン接種の周知方法は。

答 かかりつけ医のない方は、発熱外来と同様にかかりやすい医療機関での接種を進めていく考えである。

周知方法は、ワクチンの供給量や納入時期など情報が入っておらず苦慮しているが、市広報紙4月号において、国の定めた事項を掲載するとともに、高齢者については接種券及び予診票配

布と併せて情報提供し、自治会長を通じてチラシの配布も検討する。



■妊娠・出産包括支援事業

〔6498万円〕

問 出産支援金支給事業については、永続的な事業ではなく、ささやま医療センターで分娩できなくなったことによる課題解決、あるいは補完する施策を講じるまでの時限措置である。

答 これまでの様々な新しい施策の取り組みを踏まえて出産支援金を位置づけし、その上で理由を示さなければ、継続は難しいのではないかと。

問 出産支援金支給事業は、ささやま医療センターで分娩不可能となったこ

とに対する市の姿勢を示す予算であり、遠い病院に通院しなければならぬことに対する支援が主旨である。現状、代替の施策を講じる見込みは当分ないため、継続すべく計上している。また、タマル産婦人科医院に補助金を交付することによって、一定程度安定的な運営が図れているが、出産支援金が不必要になるものではないので、今後検討していく。

■地域医療対策事業費

〔2億4018万円〕

問 地域医療あり方検討支援業務委託料80万円の料の内容は。

答 調査委託する内容は、市民がささやま医療センターと岡本病院に求める診療科目、交付税算入額、人件費の削減等も含めた両病院の経営状況の改善に向けた方策、独立行政法人や地域医療連携推進法人、指定管理者制度等、両病院の統合に向けた方策、他市の市立病院の経営状況及び施策の実施後の財政シミュレーションである。

また、基礎的調査として、患者の推計、病院の経営状況、職員配置等、病床規模や機能等の評価を考えている。

スケジュールは、4月に入札・契約、7月末を目途に調査報告書を提出してもらう予定である。

■安定ヨウ素剤配布事業〔449万円〕
問 現在、近畿圏にある原子力発電所は、ほとんどが止まっている。

また、安定ヨウ素剤によって、避難する必要性がなくなるものではなく、避けられない被害もあることから、部分的な対処でしかないことを踏まえる、事業そのものを見直す必要があるのではないか。

答 市民の健康被害を防ぐための安定ヨウ素剤の配付、備蓄であると考ええる。これまで事業を継続してきたこと、また原子力災害対策検討委員会で継続との結論をいただいております、中止との判断は難しい。

■観光施設整備事業〔2003万円〕

問 ささやま荘の維持管理経費が計上されているが、現在の状況はどのようになっているのか。

答 令和3年秋にオープン予定であったが、コロナ禍の影響もあり予定通りスケジュールは難しい。現在、施設の改修費用に利用できる国等の補助金を調査中である。

特別会計

■国民健康保険特別会計

問 直営診療所勘定の歳入について、令和2年度はコロナ禍による診療控え

等により減額になったと考えるが、令和3年度の見込みは。

答 診療収入は、コロナの影響も見込み、令和2年度当初予算と比較すると少なくなっているが、令和2年度の実績見込みと比較すると、若干増加している。

■介護保険特別会計

問 介護保険制度は3年間で(貯金、均衡、取り崩し)基金運用を考え進めているが、令和2年度の基金残高が想定よりも多い理由は。

答 看護小規模多機能型居宅介護支援事業所の開設や特別養護老人ホーム増床の計画があったが、約1年間開設が遅れ、給付が不要になった。

また、平成30年度から保険者機能強化推進交付金が創設され、令和2年度からは介護保険保険者努力支援交付金が創設された。それぞれ年間約800万円の収入になり、計画より基金に積みこむことできた。

公営企業会計

■水道事業会計予算

問 配水管更新事業に関し、今回整備するエリアは約40年経過しているとのことだが、公共施設管理計画の耐用年数とは乖離がある。

実際に破損している場合は交換すべきだが、このようなことが続くと経営に支障があるため何らかの方策を考える必要があるのではないか。

答 耐用年数約40年の管を布設していたが、既に耐用年数を超えており、漏水が頻発しているため更新を行う。今後の更新に使用する管の耐用年数は100年以上とされており、更新時期を延長できると考えている。

公共施設管理計画では、耐用年数を70〜80年としているが、更新時期が一斉に来るため、事業費を平準化するため、漏水実績などを踏まえて整備する計画である。

■下水道事業会計

問 資産減耗費に関し、味間北の集落排水処理場統廃合のみが計上されているのか。

答 「味間北地区」だけでなく、農業集落排水の「西紀中地区」を特定環境公共下水道の「西紀中央地区」に統廃合するにあたり、機械や機器などの資産を使用しなくなるため、その残存価値も資産減耗費として、帳簿価格から除く予定である。

令和2年度 補正予算審査 3月会議 (弥生会議)



一般会計を含む6会計の補正予算が上程され、いずれも可決しました。
審査については、予算決算委員会に付託し、総務文教・民生福祉・産業建設の各分科会で質疑を行いましたので、その主な内容をお知らせします。
各事業の金額は、今回の補正額です。

QRコードをスマートフォンなどで読み取ると本会議の動画をご覧いただけます。



一般会計

■ふるさと丹波篠山に住もう帰ろう運動推進事業
【△104万円】

問1 移住ニーズが高まっていると思うが、移住者の状況及び空き家の供給状況は。
答1 相談件数は令和2年1月現在、昨年同期比で2.24倍。移住実績は令和元年度29世帯70人、令和2年12月末で38世帯101人になっている。
市登録物件数は昨年ベースで、事業者物件の登録も伸びているが、賃貸希望が多く、譲渡を望む所有者とのミスマッチが起きている。

問2 更に踏み込んだ物件の掘り起しが必要なのは。
答2 課題として認識しており、定住促進推進員、まちづくり協議会や自治会の地域づくりの視点も取り入れ進めたい。

■文化施設管理費
【△165万円】

問 新型コロナウイルスによる歴史4館の指定管理料の減額内容は。
答 臨時休館による照明や空調の電気代、展示室の清掃業務等を減額した。

■市民活動推進費
【△253万円】

問 コロナ禍で11団体が市民活動助成金事業を中止されたとのことだが、市としての対応は。
答 基本的に市民活動団体の判断だが、3か年継続支援であるステップアップ事業助成金を、次年度に延期される場合は、翌年に繰り越して継続支援する。

■商工費雑入
【30万円】

問 観光PRグッズであるマスクの販売状況は。
答 1800枚作成し、単価500円で600枚販売する見通しだったが、12月末で945枚となっている。コロナ禍で更に伸びると考えており、PR等を進める。



まるいのみめりんマスク

■道路新設改良費
【632万円】

問 国庫補助道路整備事業における通学路安全対策の具体的内容は。
答 市民センター北側の東西方向の市

道は、通勤時間帯に車両と学生が錯綜し危険なことから、安全対策として路肩のカラー舗装を予定している。

介護保険特別会計

問 地域包括支援センター事業費について、ケアプラン数の増減も踏まえた減額理由は。
答 ケアプラン数は東部・西部センターともに若干減少している。要因は色々あるが、個別に追跡し分析していきたい。

水道事業会計

問 今田庄所の発電機設置場所は。
答 既存の建物とフェンスとの間約4メートルの場所に設置する。

下水道事業会計

問 管路施設劣化対策更新工事における設計業務費の必要性は。
答 篠山処理区の一部について令和2年度にカメラ調査の結果、不具合が見されたため、令和3年度以降に行う工事について予算措置する。

3月議会(弥生会議)において 可決した主な条例



B&Gプール廃止の 条例改正

B&G海洋センタープールの老朽化に伴う廃止について、B&G財団の承諾を得て条例改正するもの。

【主な質疑】

問 プールの廃止後の活用予定は。

答 プールを令和3年度に撤去する。跡地利用は駐車場の予定だが、一部を公園のような遊び場とすることも考えている。

介護保険条例の一部を改正

第8期介護保険事業計画に基づき介護保険料の水準を定めるために条例の一部を改正するもの。

【主な質疑】

問 介護保険料は、これまでの改正で800円程度増加してきたが、今回500円に収まっている要因は。

答 令和2年度末の基金残高を1億4200万円と見込んでいた。このうち、報酬改定分等を除いた、1億円を投入したことによる。

市の鳥に「ツバメ」と「カワセミ」を制定

市制20年・丹波篠山市への市名変更を経て、市のシンボルとなる鳥として、「ツバメ」と「カワセミ」を市の鳥に制定しようとするもの。

【主な質疑】

問 市の鳥として、2種類の鳥を選定することに違和感がある。市の花や木も一つであり、一つに絞って、丹波篠山のイメージはこれだと言わなければ、市民にも浸透しにくいのではないか。

答 ツバメ、カワセミにはそれぞれ良い面があって、一つに絞れなかったことから2種類の鳥を選定した。



カワセミ



ツバメ

西紀農産物加工場を 無償譲渡

第三期山村振興対策事業補助金を活用し建設された築38年の施設を、土地所有者に現状で無償譲渡するもの。

【主な質疑】

問 法人ではなく、土地所有者に建物、機材一式について譲渡するのか。

答 土地所有者は西紀農産加工組合の

構成員の1人である。機材については、無償譲渡した土地所有者から、西紀農産加工組合に賃貸か何かの形で契約し、今後活用する予定である。

ジューズ加工施設を 無償譲渡

この施設は、過疎対策事業補助金を活用し、ジューズ加工場として建設された。農事組合法人「西紀ビーンズジューズ生産組合」では、丹波黒大豆が主原料のジューズを加工し、販売していたが、平成21年に中止した。それ以降は味噌加工に転換したが、平成23年に中止、令和2年には農事組合法人も解散した。

建物及び機械等の資産価値は低く、建物及び機械等を土地所有者に無償譲渡するもの。

【主な質疑】

問 今後倉庫として活用されるとのことであるが、倉庫内にある備品等は撤去しなくても良いのか。また、備品は利用できる状態なのか。

答 備品は、法定耐用年数を超過しており資産価値は無いが、良好に維持されているため全て使用可能である。もし処分するとなつたとしても、市の負担は発生しない。



青藍会 / 足立 義則

1. コロナウイルス感染症収束後の「WAKUWAKU都市丹波篠山」への取り組みについて
2. 観光イベントと市営駐車場について

QRコード



問1 広報・プロモーション活動を目的として令和3年度から新設される課の名称と具体的な取り組みは。

名称は「ブランド戦略課」。主な取り組みは市内外への情報提供の拡充、市名等のデザイン、ロゴマーク等の統一である。

自主財源確保への具体的な取り組みは。

南新町住宅、糯ヶ坪北県営住宅跡地について、敷地の測量業務、敷地の確定事務を行っている。住宅跡地の利活用については、売却を基本として検討を進める。

JRとホテルルートインにおける土地賃貸契約の締結及び当該土地の固定資産税の取り扱い及び進捗状況は。

令和2年4月1日付けで、定期借地契約を西日本JRバス(株)とルートインジャパン(株)で締結されている。土地の固定資産税は、西日本JRバス(株)が負担している。現在、兵庫県と景観影響評価の手続きを進められている。

問2 10月の1か月間を味まつりとして開催するべきではないか。



市営駐車場(三の丸西)

従来の3日間限定の味まつりにこだわることなく、例えば10月を「丹波篠山月間」と位置づけて、観光客に旬の味覚を長く楽しんで頂くことも検討していく。

市民利用が少ないと思われる土日祝日の市営駐車場について駐車料金を見直す時期が来ているのではないか。

土日祝日の観光客利用が増えるようになった。平成21年度以降、料金体系を変更していないので、丹波篠山観光協会、丹波篠山商工会等の関係機関を交え、検討していく。



有隣会 / かんなん 芳治

第3次総合計画の実現に向けて

QRコード



問1 地域に合った稼げる地域づくりとして、道の駅を一つ作るより、フルーツトマトの無農薬栽培施設と、加工販売、レストランを一体化した施設に小さな道の駅の役割を持たせ、地域の農家が出荷できる地域の核として、敷地に水平展開を図れないか。

養父市のクボファームのように1億5千万円も投資すれば、初期投資の回収が困難だが、現実はその五分の程度の投資で可能なので採算はとれる。

トマト栽培施設には、国庫補助が、1/3と1/2、また、加工販売施設には1/2の補助があるので、これらを活用支援していきたい。

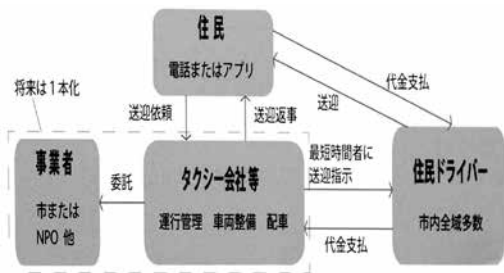
小さな道の駅は、味土里館、丹波篠山市場、ハートピア等で農家の方が活躍されていると考える。

問2 本市の暮らしの質は全体としては低くないが、自分で車を運転できない人にとっては、暮らしにくい。

まずは公共交通、コミュニティバス等が無い交通空白地帯の解消を目指し、「誰でも、何時でも、何処へでも」

スマホアプリか電話一本で行ける交通システムとして、末尾図の交通システムを提案する。

現法制化で認められる公共交通の空白地帯が否かについて、市内全域が空白地帯にはなっていない。市内全域で有償運送ができればよいが、全域ではできない現状で、現在4地域で運行している有償運送を、他の地域についても呼びかけているところだ。



交通弱者救済交通機関モデル(例)

その他質問事項

総合計画の評価・新しい遺産の創造・自治体自らが企業化するという発想



公明党 隅田 雅春

1. 公文書管理条例の制定と公文書館の設置を
2. 住みよいまちづくりに向けた支援を
3. 黒豆の日本農業遺産の認定を受けて

QRコード



問1 公文書管理条例の制定と公文書館の設置を。

他の自治体ではほとんど条例制定されていない。公文書館は神戸市、尼崎市の2自治体で設置されているが、これらの必要性について検討する。

問2 住みよいまちづくりに向けた支援を。

①ひとり親支援について

ひとり親に「ささつ子すくすくアプリ」の登録を奨励し、アプリを通じて情報発信を行う。今後、養育費不払いの問題に対して市ができることを研究する。

②高齢者支援について

各課連携した取り組みを展開している。「認知症高齢者等のSOSネットワーク」に登録されている方で、GPSの所持を希望される場合に貸与補助事業をしている。

③新型コロナウイルスによる離職者支援

収入が減少した際に利用できる特例貸付の利用者は2月末現在で140人。生活に困窮されている方へは、新型コロナウイルス支援施策を案内している。

④政策会議に女性管理職の登用を

女性管理職を増員することで、政策会議に女性職員を配置する。

問3 黒豆の日本農業遺産の認定を受けて。

灰屋(はんや)の自然循環システムや農村景観が残されていること、ため池や水路が大切にされ、生物多様性が保全されてきたことなど、農業・農村を大切にしてきた成果である。「黒豆の聖地」宣言も有効な方法と考える。「丹波篠山黒豆物語」の漫画本の作成を前向きに検討したい。記念切手、郵便料金後納枠を活用した記念デザインを作成して丹波篠山をPRしていく。



日本農業遺産授与式



安井 博幸

1. 選択通学区の見直しを
2. 女子児童生徒の制服にズボンも選択できるようにすべきではないか。
3. 地域を終の棲家とするための移動手段

QRコード



問1 自宅から通学に便利な学校や希望する学校へ通わせることは、児童生徒や保護者にとっても決して悪いことではない。選択通学区域のより広範囲な導入も含め、将来の本市における小中学校の統廃合について、広く議論すべきではないか。

平成16年度から、岡野・大山・城南・古市小学校では、従来の通学区域を残したまま中学校を選択できる「特定地域選択制」を設けている。通学区の選択肢を広げることは、今のところ考えていない。地域とともにある学校づくりを進めており、ICT技術で遠隔授業が可能になり、確かな学びを支える環境づくりを研究していきたい。

問2 寒さ対策とジェンダーの観点から、女子児童生徒の制服にズボンも選択できるようにすべきではないか。

長ズボンや防寒服の着用を認めるとともに、個別の相談にも柔軟に対応するなど、既に対策を講じている。成長とともに、子どもたちの心と性

は大きく変化するので、適切な支援を行なう。

問3 人生100年時代に、自立した移動が可能な期間を延ばすことが重要である。そのためにカーシェアリング等、地域の自主的な交通施策を支援する必要があるのではないか。

バスやタクシーだけでは住民の移動が不十分な地域では、公共交通機関を補完する形として、法の適用を受けない地域の自主的なカーシェアリングの取り組みの相談に応じ支援をしていく。





小島 政行

1. ワクワク農村未来プランについて
2. 市職員の副業について

QRコード



問1 本市の優れた農産物やその食材を加工する「ワクワク加工品プロジェクト」を立ち上げて、農業女子の育成を。

特産品を活かした農業女子に繋がられるよう、取り組んでいきたい。

本市のPRに市民参加型の「ワクワク農村だより」のような情報ツールを開設しては。

積極的に取り組んでいきたい。

来年度からの地域振興課職員や地域サポート職員が、自治会やまちづくり協議会の会合に向いての支援を。

支援チームやコーディネーターの派遣等も検討したい。

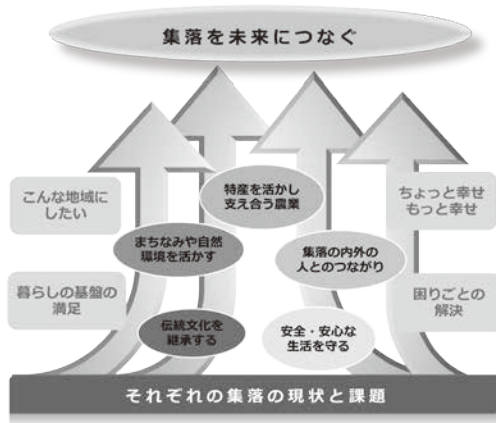
問2 農林業に限定した職員の副業を許可して、人手不足解消とともに市の職員で地域活動に取り組み、丹波篠山の良さ、誇りを感じて欲しい。

大変有益な提案と考える。手始めに、非農家職員等が休日などに生産組合等の手伝いを許可し、職員が自発的、積極的に係わり、農業現場の苦勞、体験から農業施策や、農都丹波篠山の未来に向けた政策立案に繋げたい。



栗の剪定とヤギの放牧

ワクワク農村未来プラン取組みイメージ図



上田 英樹

1. 桑原地区の公害問題解決に向けて
2. ウイズコロナにおける丹波篠山の観光戦術(農村ツーリズム)

QRコード



問1 施政方針では、一日も早い解決に向けて取り組みを進めるとあり、市広報紙にも掲載された。

今回の「丹波篠山市環境保全条例に基づき氏名公表の意義や効果、県に報告された農地法違反(無断転用)事案等にどのように取り組むのか。

今回の氏名等の公表については、制裁が目的でなく、公害問題の早期解決に向け前進を図り、市民の生活環境を守るための措置である。

これだけ長期間、地域住民の生活環境を侵害することは、人権侵害にもあたると考えられ、誠に遺憾である。

鶏舎用地は造成され、農地性が損なわれ、農地法違反の状態と考えており、県では、現地調査や事情聴取も行い、是正勧告・現状回復命令の発出に向け、調整が進められている。

今後、県と連携しながら、一日も早い解決に向けて取り組んでいきたい。

問2 新型コロナウイルス感染症により、観光志向が都市から離れた場所、少人数、自然へと変容するなか、日本農業遺産認定を機に、丹波篠山を大き



農村ツーリズム対応宿泊施設

なゾーンとして捉えた「農村ツーリズム」の観光の推進が必要ではないか。

市内各地で「農村ツーリズム」が進みつつある中、日本農業遺産に認定された丹波篠山ならではの、農産物の食材や農業、陶芸などを体験できる「農村ツーリズム」を進めていき、丹波篠山市全域が潤うような観光施策を展開していく。



河南 克典

1. 消防体制について問う
2. 丹波篠山市公共施設等総合管理計画の推進について問う

QRコード



問1 近年、大規模な林野火災等が頻発しており消防団の充実が必要である。消防団員数は減少傾向にあり本市も例外ではない。消防団員を補完するため機能別消防団があるが、現行制度下では1分団に7人以内とする制約があり、充実を阻む要因となっている。更なる増員ができるようにすべきでは。

また、かつて旧4町時代には、各町役場に「本部分団」等を設置し、職員が出勤していたが支所機能の縮小に伴い消滅している。現在の消防団員数は1203人で、450人程度(約35%)が市外勤務である。日中の災害対応としては充分とは言えないことから、「本部分団(仮称)」を組織し対応できるようにすべきでは。

消防力充実を図るため、機能別消防団の定数増員及び「本部分団(仮称)」の設置について消防団幹部と協議を進める。

問2 市公共施設等総合管理計画(H29策定)では、2060年度までの公共施設更新費用は1339億円。年平

均で約35億円とし、公共施設の延床面積を22%縮減しなければならぬ可能性があるとされている。

公共施設の統合・廃止について大所高所から検討・判断する部署を設置し、積極的に推進すべきでは。

公共施設全体の把握や計画的な長寿命化、財政負担の平準化とともに各関係部局で連携し、更新や集約化など長期的視野に立って取り組んでいく。



園田 依子

1. 高齢者のコロナ禍でのフレイル対策について
2. 福祉支援について

QRコード



問1 コロナ禍における高齢者の健康二次被害に関する情報発信は。

シルバー健診においてH26年と比較すると、外出機会減少が14.8%増、認知機能低下の項目の該当率1.2%減、うつリスク該当率0.5%が減少している。健康二次被害へ、高齢者への啓発を強化しシルバー健診からの介護予防の効果を情報発信していきたい。

コロナ禍の高齢者の健康維持とフレイル予防対策の現状は。

ハイリスク高齢者への把握訪問や、低栄養や口腔機能低下該当者への個別保健指導等を実施していく。

フレイル度がチェックできる自己評価表の配布を。

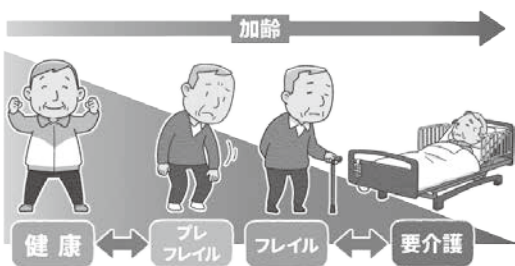
いきいき倶楽部や高齢者サロン等、高齢者の集まる機会をとらえて、自己チェックによる気づきとフレイル予防の啓発を効果的に実施する。

問2 「不妊治療ペア検査支援」として不妊治療検査を夫婦で受け、治療を後押しすることで、出産で悩まれている夫婦を応援する不妊検査費用助成制度の考えは。

市単独で実施している一般不妊治療費助成事業を充実させ、妊娠を希望する夫婦が検査や治療を受けやすい環境整備に努める。

がん患者へのアピランス(外見ケア)について、医療用ウィッグ、人工乳房や乳房を保護する補正下着も含め、がんになってもいきいきと社会で活躍できるよう患者を支える支援を。

がん患者の方は、心理的、経済的負担は大きい。がんになっても幸せと思える地域づくりのためにも必要と考える。事業化に努め早期に実施したい。





栗山 泰三

「日本農業遺産」認定を受けて

QRコード



問 日本農業遺産に認定されたからには、高品質の黒大豆づくりの維持が重要と考え、次の5点について、市長の見解を問う。

- ①市民への周知方法やまちづくりの取り組み方法、ブランド化、地域経済活性化への取り組み方法は。
- ②「美方郡産馬牛」世界・日本農業遺産推進協議会を参考にした取り組みは。
- ③世界農業遺産に向けた見解と意気込みは。
- ④家族経営では限界がある、黒大豆の栽培面積と、気候に左右される品質の維持確保は。
- ⑤環境創造型農業推進事業における土づくり事業補助金を昨年度より減額している件は。

①、②横断幕やのぼりの設置、ホームページの整備、市広報への掲載、パンフレットの作成、PR用動画、パネル、ポスターなどの制作などを検討している。

③日本農業遺産認定でわかった丹波篠山黒大豆の歴史や文化を市民の皆さま



日本農業遺産授与式

んに知ってもらうこと、優良種子の確保や集落ぐるみの取り組みによる品質向上と栽培面積の確保、そして日本遺産を生かしたブランド化を推進する。

④集落営農組織等に対する脱粒機や選粒機などへの導入助成、水管理など気候変動に対応した情報を発信する。

⑤堆肥などを活用した土づくりは重要な課題であり、大規模農家からさまざまな提案をいただいているので、有効な施策を検討する。



前田 えり子

1. 安心できる介護保険制度へ
2. PCR検査を二斉・定期で

QRコード



問1 介護保険導入から20年。「介護難民」が大問題になり、「介護離職」が深刻化し、「保険あって介護なし」と言われてきた介護保険は、今や「国家的詐欺」とまで言われるようになった。今後、介護保険制度は維持できるのか。

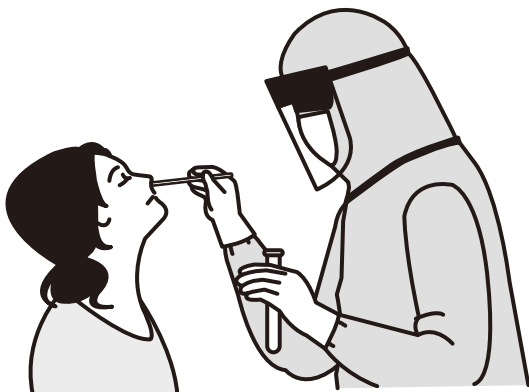
総合事業に居宅要介護者を追加する改正が行われたが、丹波篠山市としては、引き続き介護サービス給付の対象とする。

第8期では、ニーズの高いサービス付き高齢者向け住宅の整備を検討するとともに、人材確保に向けて、新たな補助制度を設け、研修を充実させることでサービスの質の向上に取り組む。

問2 ワクチン接種による感染収束へ期待感が広がっているが、ワクチン頼みで基本的な感染対策がおろそかになっては、再び感染が拡大する恐れがある。クラスターの内、医療・福祉施設が45%を占め、最もクラスターが心配される介護施設から、PCR検査を一斉・定期に実施するよう求める。

市内8つの発熱外来で、合計2299人の検査を実施し、市内施設で複数

の感染者が出た時には感染状況に応じ、濃厚接触者の範囲を広げて検査をしている。無症状者に対して検査をすると、医療機関の負担が増える。今後心配される第4波に向けて、県や福祉事務所には、地域の実情を勘案して、幅広く検査できるように働きかける。





大上 和則

1. 超近視時代における予防と対策について
2. 施政方針について問う

QRコード



問1 スマホやパソコン、タブレットの普及により、長時間にわたり画面を見る時間が増え、近視が子どもから大人まで急速に進行し、健康面においても悪影響を及ぼしている。

市内の小中学校においても、一人一台のパソコンが整備されることにより、ICT機器の利用がさらに増えていくものと思われる。

予防対策として「20ルール」の習慣付けや、近視予防に効果があるといわれる野外活動を促していくべきではないか。また、市民に対してもこの問題を周知していく必要性があるのではないか。

目の健康を守る行動は習慣化してこそ効果が上がる。野外活動の重要性も含め、早急に先行例から学び、目の健康を守る方法を指導していく。また、コロナ禍において、在宅で目を酷使する機会も増えてきていることもあり、市民に対しても周知啓発していききたい。

*「20ルール」(トウエンティール)とは: 20分間デジタル画面を見たら、20秒間20フィート(6メートル)以上離れたものを見て、目を休めるというもの。

問2 施政方針において、ユネスコ創造都市として、市内の工芸をさらに推進していくための施策の記述があるが、具体的な方向性や進め方を問う。

現在、工芸家同士のネットワーク化を進めており、多種多様な市内の工芸を紹介する新たなパンフレットの作成や、ホームページの内容を充実させ、更なる情報発信を行っていく。

女性アーティストの活躍の場と機会をさらに推進すべきでは。

市民ホールでの作品展示のほか、作成中のパンフレットにおいても紹介していく。女性の意見も十分に取り入れ、それらを反映させた形で実施していきたい。



渡辺 拓道

1. 多様で複層的なコミュニティづくりをどう進めるのか
2. 河川愛護活動について
3. 今後のコロナ対策について

QRコード



問1 総合計画の方針で一番目に掲げた「多様で複層的なコミュニティづくり」について、令和3年年度はどう取り組むのか。

地域を見直す「ワクワク農村」の取り組みを通じてコミュニティづくりに取り組みたい。

問2 人口減少や高齢化により、地域における河川の草刈り作業が困難になりつつある。外部の力を活用することが必要だが、アドプト制度では不十分である。このため、災害ボランティアセンターのような応援をしたい人をうまくマッチングする仕組みを検討してどうか。

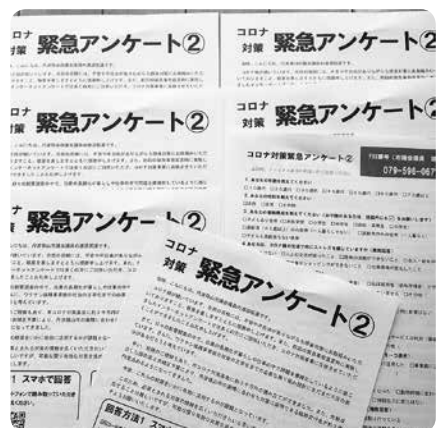
市としても課題と捉えており、何らかの仕組みが必要と考えている。

問3 コロナ対策についてのアンケートの結果、市民は特にワクチン接種と市民活動の再開に不安を抱かれている。今後、経済対策を含めて市はどのような対策を進めていくのか。

ワクチン接種は、市内20医療機関での個別接種で行う。広報紙やチラシ、4月から開設するコールセンターで丁

寧な周知、相談を行う。また、4月以降全庁的な体制を組む予定である。

市民活動の円滑再開に向けては、公共施設の利用料の減免を継続するとともに、経済対策では、2回目のクーポン券配布事業などを検討している。



緊急アンケート②

*アドプト制度とは: 公共施設里親制度とも呼ばれ、公共が管理する道路や緑地などの施設を、民間に管理していただき、その活動を支援する制度。



大西 基雄

1. 施政方針
 2. 教育方針
- 人権尊重のまちづくり
学校における人権教育の
充実について

QRコード



問1 人権侵害や差別の解消に向けたインターネットモニタリングの更なる取り組みをどう進めるのか。

SNS上の掲示板などへの悪質な書き込みによる人権侵害に対し、各ふれあい館でのモニタリングの検討や市民への情報提供の呼びかけ等により、モニタリング回数を増やし早期発見・拡散防止や削除要請に繋げる。

男女共同参画推進にむけた管理監督職の女性登用の進め方は。

男女の区別なく能力と適正を踏まえた職場配置や管理職への登用を行なう。

男性も家事や育児、介護等関わる事が必要であることから休暇取得権等について、周知、啓発を行なう。

新型コロナウイルス感染者等や医療従事者保護に関する人権条例を制定しては。

本市には人権尊重のあたたかいまちづくり条例があり、条例制定までは考えていないが、12月議会提案の共同宣言「〜コロナ差別をなくし、あたたかい丹波篠山市に〜」の啓発や活用を進

める。

問2 学校での人権教育の目的・目標で、同和問題が人権問題の重要な柱とされているが具体的な取り組みは。

小学校低学年では、友達と協力助け合い、友達を思いやる、豊かな感性を育て人権意識を芽生えさせる。中、高学年、そして、中学生で、身の回りの差別や偏見、生活の中の不合理や矛盾に気づかせ人権侵害を他人事としても重要である。

教育に携わる者への人権意識に関するアンケート調査は。

人権感覚をアップする為、調査研究し前向きに検討する。



議員の辞職

令和3年3月1日、丹後政俊議員から、議員を辞職したい旨願い出があり、3月2日会議において採決を行った結果、賛成多数で議員の辞職を許可することに決定しました。

QRコード



同意第1号 副市長の任命につき同意を求めることについて

令和3年3月25日会議において、酒井隆明市長から企画総務部長の堀井宏之氏(59)を副市長に任命することについて同意を求める提案がありました。
採決の結果、全員賛成により副市長の任命に同意することに決定しました。

QRコード



同意第2号 教育長の任命につき同意を求めることについて

令和3年3月25日会議において、酒井隆明市長から丹後政俊氏(63)を教育長に任命することについて同意を求める提案がありました。
採決の結果、賛成多数で教育長の任命に同意することに決定しました。

QRコード



～賛否の分かれた議案等の公開～

議案等	議席番号 議員名	1	2	3	4	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		原田 豊彦	前田 えり子	上田 英樹	隅田 雅春	安井 博幸	足立 義則	向井 千尋	園田 依子	大西 基雄	栗山 泰三	かんなん 芳治	渡辺 拓道	吉田 知代	河南 克典	大上 和則	小島 政行	森本 富夫
日程 第2	議員の辞職	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	-
議案 12	丹波篠山市介護保険条例の一部 を改正する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 13	丹波篠山市の鳥の制定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 14	令和3年度丹波篠山市一般会計 予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 15	令和3年度丹波篠山市国民健康 保険特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 16	令和3年度丹波篠山市後期高齢 者医療特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案 17	令和3年度丹波篠山市介護保険 特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意 2	教育長の任命につき同意をもと めることについて	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	×	棄権	○	○	○	○	-

※○は賛成、×は反対。 ※森本議員は議長のため、表決には加わっていません。 ※5番は欠員です

■議案第12号

【反対討論】

- ・格差と貧困が広がり、高齢者と家族が抱える問題も複雑化するなか、保険料も利用料も負担が増えることは認められない。

【賛成討論】

- ・第4期から第7期までは約800円増加してきたが、今回の第8期では基金の導入により500円の増加に収まっている。またサービス施設の増設も計画しており、今回の改正は妥当である。

QRコード



3月2日会議



3月25日会議

■議案第13号

【反対討論】

- ・丹波篠山市の花(ササユリ)や木(サクラ)のように市の鳥も1つに絞るべきであり、2つを選定することに反対である。

【賛成討論】

- ・市民へのアンケート結果を尊重したものであり、制定後、広く大勢の方々に市内の鳥を知っていただくきっかけになる。

■議案第14・15・16・17号

【反対討論】

- ・負担を増やすばかりではなく、住民の命と暮らしを最優先に市政が執行されるべきである。

■議案第14・15・16・17・18・19号

【賛成討論】

- ・今後も財政健全化への取り組みは予断を許さない状況の中、限られた財源の中で本市の魅力を最大限に発揮するための施策が盛り込まれた予算であることが各分科会審査で確認できた。それ故、令和3年度の予算案に賛成するべきものとする。

総務文教常任委員会

委員会では、古民家、空き家等の活用と篠山再生計画をテーマに、所管事務調査を行いました。

■古民家や空き家等の有効活用に主眼をおき、「丹波篠山における今後の事業展開」をテーマに(株)NOTEの取り組みについて、調査を行いました。

(株)NOTEは、古民家等の歴史的資源を尊重し、街全体を分散型で面的に開発・マネジメントすることで、地域に新しい生業を創出し、歴史文化を次世代につなぐ「NIPPONIA事業」を一般社団法人ノオトと連携して実践されています。

事業者運営型の「篠山城下町ホテルNIPPONIA」では、城下町全体を一つのホテルとして見立てた分散型の「城下町ホテル」を。地域運営型では、「集落丸山」にて、複数の空き家・古民家を改修し、地域コミュニティと連携した地域住民自らによる運営が行われています。

市、商工会、観光協会、ノオトなどが密に連携した事業展開を期待し、地方創生の観点から、古民家等の歴史的資源の活用による持続可能なまちづくりを、今後も調査研究します。

■平成20年に策定された篠山再生計画(行財政改革編)の計画期間は10年です。財政再建の道筋がつくまで毎年見直され、令和元年度に、1年前倒しで収支バランスが取れました。

委員会では、当局から篠山再生計画の現在の位置づけや、今後の方向性等を中心に聞き取り調査をしました。

「令和3年度から令和5年度にかけて一時的ではあるものの収支が取れない見込みである。また新型コロナウイルス感染症拡大による経済状況の先行きが不透明なことから、引き続き篠山再生計画の取組項目を実施し、着実な行財政改革を進めていく」との説明でした。

計画期間は10年で、一旦収支バランスがとれたにもかかわらず、まだ収支バランスに課題がある為、そのまま続けるのは理解し難く、篠山再生計画にけじめをつけ、多大な協力をいただいた市民の労をねぎらい、新たな一歩を踏み出していくべきでしょう。

令和3年度は、「2030年に向けた人口減少と危機に強い自治体づくり」と「新しい生活様式と少子高齢化における学びの保障」を、調査します。

民生福祉常任委員会

委員会では、次の4項目について、現状把握と今後の方向性を調査・提案しました。

1 消防団車両の運行中の事故に係る調査(令和2年8月)

車両の機関維持点検のための走行中の事故であることを踏まえ、点検時におけるマニュアルの作成、再発防止の意識啓発に取り組むよう提案しました。

2 消防指令業務共同運用に係る協議状況の調査(令和2年8月)

三田市・丹波市・丹波篠山市の3市で協議を重ねる中、異なったメーカーによる消防指令システムの互換性に課題があり、共同運用が難しい状況にあることを確認しました。

3 ささやま医療センターの運営状況調査(令和2年9月)

令和元年度の経営状況、丹波篠山市地域医療関係者会議(仮称)の設置要望に対する当局の考え方を調査し、地域医療の在り方について丁寧に検討を進めていくことを確認しました。

4 (旧)丹波篠山市保健センターの運

営状況調査(令和3年1月)

同施設の屋根及び外壁を改修、今後とも維持していくという当局の考えに対し、公共施設等総合管理計画(平成29年3月)の趣旨、同施設の必要性、事業及び予算の計画性を踏まえ、総合的かつ丁寧に検討することを指摘し、市長に提言しました。



新たに導入された救助工作車

産業建設常任委員会

委員会では、「農都創造」の取り組みについて年間テーマに掲げ、所管事務調査を行いました。

■ICT活用による獣害対策

鳥獣害対策として、平成20年、市猟友会、JA、自治会長会で「丹波篠山市有害鳥獣対策協議会」を発足、また、協議会の活動をサポートする県、森林動物センター等をメンバーとした「支援チーム」を発足して活動してきました。その活動の中で、ICTを活用した3つの取り組みが行われています。

・農地を獣害から守る

農地を獣害から守るための被害対策への支援策として、ICT技術を利用しサルや位置情報を配信する「サルイチ」での情報提供や発信機によるサルの位置情報を毎日調査しています。現地で調査結果をリアルタイムで登録者に情報提供し、調査時の群れの出没・被害状況をモニタリングすることで、効果検証、施策検討、加害レベル判定に利用されています。

・サルの個体数管理

ICT大型捕獲檻を用い、現場にいかなくても遠隔操作で捕獲することが出来るものであり、適切な個体数管理を実現しています。

・鹿、イノシシを捕獲

同じICT大型捕獲檻を用いて鹿、イノシシを捕獲しています。個体数管理とは違い、農地へ侵入する加害個体を特定して捕獲することです。

高齢化により農業や有害鳥獣捕獲の担い手である狩猟者も減少するなか、ICTを活用して効率よく捕獲し、対策を行えば、猟友会等狩猟者の負担を減少するとともに、今後の担い手対策にも期待されます。

■日本農業遺産登録に向けた取り組み

昨年一次審査を通過し、二次審査が1月27日に行なわれ、そして、2月19日「丹波篠山の黒大豆栽培くムラ支える優良種子と家族農業」が日本農業遺産に認定されました。

本市の特産である黒大豆栽培を通じて農業を大切に守り、未来に継承していくためには、農業者のニーズにあった支援をする必要があります。

また、黒大豆生産における誇りと伝統を市民に十分理解いただけるよう啓発、周知することにより、更なる特産物振興につながると考えます。

議会広報特別委員会

委員会では、発行までに編集会議を4〜5回開催し、「原稿作成・企画・編集・校正」等を行い、「市議会だより」を発行しています。

市民の方に、市議会の内容を分かりやすくお伝えしたく、昨年7月と今年の1月に、コピーライターで大学非常勤講師の二階堂薫先生を講師に招き、「紙面づくり」の研修を行いました。

伝わるように伝えるために

情報を選択し決めるのは、常に「受け手」であること意識し、伝えたい内容や方法を選択し、適切に組み合わせ発信することが大切であると、再確認しました。

今年1月の研修では、「市議会だより」第93号・第94号の内容も再確認しました。より良い紙面づくりには、「ふりかえり」が大切との講師の指導のもと視点をかえて改めて紙面を見直すと、これまで気づかなかった次のような改善点に、気づきました。

①写真の上に文字を重ねる場合は、本当にその写真が必要なのか、文字が読みづらくなかないか考える。

②紙面の空白部分を恐れず、空白を効果的に使うことが大事である。伝える側は、紙面がもつたいたないといえる

だけ空白部分を埋めて情報を詰め込もうとするが、読み手が必要な情報を読みやすくするため、空白部分も設けてレイアウトすることが大事である。

③紙面の縦書きか横書き、文字の大きさ・太さ・書体・色づかいも、伝える相手のことを考えて決定する。これらのことを、委員全員で共通の認識としました。

議会広報特別委員会では、「伝わる広報紙」を目指し、伝える相手の方を意識して、広報紙発行に向けて取り組みます。

ユニバーサルデザインフォント

今回から「市議会だより」は、誰にとっても見やすく読みやすい、「ユニバーサルデザインフォント」(文字)での作成し、少しでも分かりやすくする工夫と努力を続けます。

QRコードをスマートフォンなどで読み取ると本会議の動画をご覧いただけます。

民生福祉
産業建設
議会広報

総務文教



次回の会議は6月に開催します。

【通称：水無月会議】

- 6月 1日(火) 本会議(第1日)
補正予算、条例改正 他
- 6月16日(水) 本会議(第2日)
一般質問 他
- 6月17日(木) 本会議(第3日)
一般質問 他
- 6月24日(木) 本会議(第4日)
委員長報告 他

(常任委員会・分科会)
○予算決算委員会分科会
補正予算審査
6月2日(水)総務文教
6月3日(木)民生福祉
6月4日(金)産業建設

◎いずれも午前9時30分開会予定。どうぞ傍聴にお越しください。なお、市議会のホームページでも本会議中継を見ることができます。また、市役所本庁舎(1階ロビー・4階議場前)に設置のモニターでも本会議の視聴が可能です(リアルタイムのみ)。

※本会議・委員会の傍聴にあたり、託児を希望の方は開催日の2週間前まで、手話通訳を希望の方は開催日の4週間前までに議事事務局へご相談ください。

※議会だよりに対するご意見やご感想は、下記までお寄せください。
TEL (079) 552-6855
FAX (079) 552-7104
E-mail
gikai_div@city.sasayama.hyogo.jp

丹波篠山市議会だより 第95号
令和3年4月21日発行

編集・発行

丹波篠山市議会広報特別委員会
安井 博幸・原田 豊彦・上田 英樹
大西 基雄・かんなん芳治
〒669-2397 兵庫県丹波篠山市北新町41
TEL (079) 552-6855

丹波篠山市議会 検索



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境にやさしい
植物油インキを使用しています。

5月にYouTubeにて動画配信予定。どうぞご覧ください！

オンライン議会報告会のお知らせ

5月に予定していた議会報告会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から動画配信により行うことにしました。

対面方式による報告会が行えず、皆さまからのご意見をきく大切な機会がなくなり申し訳ありません。ご理解のほどよろしくお祈いします。

動画については、5月にYouTubeにて配信予定で、丹波篠山市議会のホームページからもご覧いただけます。



まらなみ

目に見えぬウイルスの脅威。様々なものが新しくなる時期をむかえる今、まだまだ猛威をふるう感染症に怯えながらも新しい生活スタイルを求めねばならず、国内では2月17日より医療従事者へのワクチン接種が始まり、この丹波篠山市においても新型コロナウイルススワクチン保管用の超低温冷凍庫を設置するなどワクチン接種に向け準備が進んでおります。

このコロナ禍、一日も早い収束を願うばかりです。そのような中で一筋の明るい光、本市において「丹波篠山の黒大豆栽培」が支える優良種子と家族農業」が日本農業遺産に認定されました。

これを機に基幹産業である農業を、今後益々発展させるため、農業生産者の高齢化による継続力の低下により、放置された休耕地や遊休地等の活性化を図り、集落営農や新規農業者、担い手育成への支援策等により特産物の振興と農業を守っていかねばなりません。

これからの農業として農林水産省が進める「スマート農業」があります。スマート農業とは、ロボット技術や情報通信技術(ICT)、農業用ドローンを活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業であり、農作業における省力化・軽労化を進める事ができるとともに、新規就農者の確保や栽培技術力の継承などが期待されています。

めまぐるしく変わる社会状況のなかで、皆様のご意見を聞かせて頂きながらスマート農業等に取り組みたいと思っております。

(大西 基雄)

広告

あなたのいっそうの健康をサポート

病院の診断結果の詳しい解説や
医師との適切なコミュニケーション術、
肥満・便秘・ストレス・血圧・血糖値で悩んでいる方、
健康で元気に毎日を過ごしたい方へアドバイスします。

無料相談(30分)

臨床検査技師
加藤 晴之
丹波篠山市池上
277-32

Health & Fine ヘルス アンド ファイン
まずは気軽に
お電話で 080-4297-9291

広告



丹波篠山
まつかぜ屋

*完全ご予約制(2日前まで)
*隠れ家風古民家(掘りごたつ式)
*2組限定(昼・夜とも2組限定)
*昼11:30~14:00 夜17:30~21:00

【鍋物コース】【炭火焼バーベキューコース】
【名古屋コーチン一品料理】など。
こだわり飼育の名古屋コーチン、丹波篠山産の米・野菜・牛肉・猪肉・酒など使用。
水・木/定休日。駐車場(数台分)有り。

〒669-2201 兵庫県丹波篠山市東古佐95
電話 079 (594) 5454
携帯 090-3722-4755
https://tanbasasayama-matsukazeya.com